

竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

縁に随（したが）って自在に生きる

法然寺の三代前の住職で、松岩寺先代の細井照道師が生前、色紙などに揮毫（きごう）されていたのを見たことがあります。

ある時、その中に「随縁自在（ずいえんじざい）」「縁に随（したが）って自在なり」とあったのを見て、とてもすばらしい言葉だな、と感じ入ったことがありました。

私たちは「縁」によって日々を過ごしていると云えませんか。いろいろな人との出会いもそうです。「縁」の中には、好ましい良縁あり、嫌な悪縁あり、さまざまです。こちらが望まない出会いでも、避けられない出会いもあります。

職場でもそうですね。特に社会人として新しい生活に入った人達は、だれでも初めは不安な気持ちで職場に就くものです。仕事のことのほかに、人間関係などに気を使うこともあります。生涯を順風満帆の生活で過ごす人はほとんど無いでしょう。いろいろな困難に突き当たることもあります。昔の人は「艱難（かんなん）汝を玉にす」（苦勞や困難に耐えてこそ強く立派な人間になれる）と教えました。

かく言う私は、昔京都から大阪へ通勤していました。学校でしたが、ある日、保護者への対応が難航して、終電車に乗り遅れたことがありました。それは「とき（時）」が解決してくれました。

「縁によって自在に生きる」という気高い生き方までとはとても及びませんが、そんな生き方ができるようにまだまだ人生修行。

でももう九十歳。

西方町 松岩寺住職 細井房俊

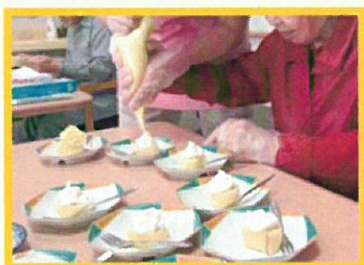
楽しみのある生活を目指して

デイサービス副主任 吉田 知明紀

認知症型デイサービスでは利用定員10名という少人数を生かして、毎日レクリエーションをご用意しています。お茶会や、おやつ作り・ゲームや脳トレなど利用者様が楽しんで頂けるレクリエーションを考えています。

おやつ作りでは季節を感じられる物を皆様と一緒に作っています。初めは皆様「私は、よおせんから。。」と遠慮され積極的にしようとなされません。しかし昔とつた杵柄といいますように包丁や調理道具を持つと「こうかしら？」「できたわあ。」と昔調りされていた事を思い出され、真剣に取り組まれています。また、制作で絵はがきなども実施しています。先日はプリンターに咲いていたチューリップを描いたり、利用者様のご家族様から頂いた笛を描いたりとこちらも初めは皆様うまく書けないと言われますが、色々お話しされながら思いの絵を描かれています。出来上がった絵を見ると何とも言えない味のある作品が出来上がっています。そして出来上がったものをみんなで見せ合いながらおしゃべりに花を咲かせられています。

頭を使い考え、手先を使い他者とお話をされる事により脳が活性化され認知症予防にも繋がります。今後も認知症型デイサービスでは利用者様が楽しめるレクリエーションを考えていきたいと思えます。



「救急法を行って」

看護師 鶴見 てる美

5月10日〜16日より、職員研修で「救急法」を実施しました。消防署より人形をお借りして看護師の指導の元、酸素吸入、吸引、気道確保、心臓マッサージ、AEDの使用方法を勉強しました。救急法の研修は年に5回全職員で実施しています。このような研修を通して知識や技術を身に付けたいと思います。



「苦情対応結果について」

平成28年度の苦情は、特別養護老人ホーム1件、デイサービス2件の合計3件でした。内容は送迎時間、介護方法、衣類の管理についてでした。

今後とも皆様からのご意見を真摯に受け止め、サービスの向上を目指して行きたいと思えます。

社会福祉法人竜雲学園 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム
短期入所サービス
通所介護サービス
認知症型通所サービス
訪問介護サービス
老人介護支援センター
ケアハウス

〒761-8078
高松市仏生山町甲 3100 番地 2
TEL: 087-888-5800
FAX: 087-889-1004

「外出に行ってきました」

5月8日、12日に仏生山公園につつじ、ボタン、バラを見に仏生山公園、法然寺に行きました。

5日の最高気温は、28℃と初夏のようにととても暑い日でした。

